

# オートファジーと疾患

～ 本セミナーは専門研究者向けの内容となっております ～

**日時** 2018年6月26日(火) 10:00～15:40

**場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 5F 山村雄一記念ライフホール

コーディネーター 大阪大学大学院医学系研究科 遺伝学教室 教授(荣誉教授) 吉森 保  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子遺伝学 教授 小松 雅明

**趣旨** : オートファジー研究は、大隅良典博士(現東京工業大学荣誉教授)の出芽酵母を用いた先駆的な研究、すなわちオートファゴソーム形成に必須な ATG (AuTophagy) 遺伝子の発見により飛躍的に進んだ。大隅博士はその功績により2016年ノーベル医学生理学賞を受賞した。この発見を契機に、オートファジーの素過程の基本メカニズム、そしてオートファジーの基本的な生理作用が明らかになった。

しかし、オートファジー研究領域が成熟したかといえ、それには遥かに及んでいない。実際、オートファジーの研究が進むにつれて、従来の概念を超える多様性の存在が明らかになり、さらにはオートファジーが遺伝情報の維持機構、分化や環境変化に伴う細胞機能の制御、幹細胞の維持・分化、さらには老化制御といった生命の根幹に関わる事象に深く関与することも判明しつつある。またオートファジーが数々の重要疾患の抑制に働いていることが次々と示され、臨床応用の期待が高まっている。

本シンポジウムでは、オートファジーの高次機能及び疾患との関係について最先端の研究を行う研究者を集め、現在までのオートファジー研究の到達点を紹介するとともに、将来像を討議する。

## Program

**演題1 「オートファジーによる疾患抑制の分子機構」**

吉森 保 (大阪大学大学院医学系研究科 遺伝学教室 教授(荣誉教授))

**演題2 「感染防御免疫系における ATG8 ファミリー分子群の役割」**

山本 雅裕 (大阪大学微生物病研究所 感染症態分野 教授)

**演題3 「マイトファジーの破綻と遺伝性パーキンソン病」**

松田 憲之 (東京都医学総合研究所 ユビキチンプロジェクト プロジェクトリーダー)

**演題4 「オートファジーと肝癌・膵癌 ～P62 との関連～」**

椋村 敦詩 (京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学 助教)

**演題5 「心不全におけるオートファジーの役割」**

大津 欣也 (キングスカレッジロンドン 循環器科 教授)

**演題6 「選択的オートファジーによる転写制御」**

小松 雅明 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子遺伝学 教授)

定員 200名(申込順) 参加費 無料

申込要領 氏名、所属、〒(連絡先)住所、電話番号を明記の上、E-mailでお申し込み下さい。  
事務局より参加証をE-mail添付で送付します。(当日、受付でご提示願います)

申込先 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団 セミナーM2事務局  
〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル 20階  
E-mail:tnb@senri-life.or.jp、TEL:06-6873-2001、FAX:06-6873-2002

主催 公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団 ※ 詳しくは財団ホームページまで